お話の中のおじさんと傘のこと の上で響く雨音を聞くといまだ いぶんと昔のことだけれど、

傘

年生の国語の授業だった。

初めて読んだのは、

小学 もう

の「おじさんのかさ」という物語

出す物語がある。

佐野洋子さん

た。 まり、

とても大切で、大切にするあ

雨が降ってもささなかった。

の 降

るこの季節になると、

思

を持っていて、

その傘が大好きだっ

でくれた時の父の笑顔。

を思

出

Ů 2

んは立

派な傘

で通が添える 常への彩り

とも。 ら取り戻したい気持ちに 戻せない過去を今更なが ら寂しく思っていたかも いのですが、 て何か言われたこともな 思い当たらないこともあっ のような定番の贈り物も 母の日のカーネー ション は しれないと思うと、 らその日が過ぎていたこ ないので、 あまり口数の多い父で 申し訳ないのですが、 過去には気がついた もしかした それに対し 取り

> が、 なくなってしまいました なることもあるものです なった気がします。 時からそう感じるように 何かをしてあげることも なってしまい、父の日に 父を少し敬遠するように 成長するにつれ、 子どもの頃、 大人になってから父

もうすぐ父の日。

父に

タイをあげたら、今でも 息子からの恐らく初めて 忘れられないくらい喜ん 幼稚園で作った紙のネク きっとそう思って何度も たような気がします。 見ると、 父が元気でいる限りは、

ません。

父の日」

ないからあるのかもし

n

の 上、

余裕をもってポ

ス

トに投函してください。

局に到着することを確認日前 (28)までに事務

けれどきっとそうでは

厳しさの理由を知った 厳しい

父の日に しまったけれど、 かもしれません。 ものよりも嬉しかっ なに欲しいと思っていた になってから贈っ の 贈り物の喜びは、 たどん

ずの過去を少し取り戻せ せるあの頃と同じ笑顔を と比べると随分と老いて 歳をとって父もあの またあの笑顔が見たい。 取り戻せないは 時折見

ほしい。

なら「ずっと」であっ とを願って。できること も」ができるだけ多いこ 気がします。その「何度

て

IJ

30日です。送りたい

2お

6月の発送日は通常

手紙がある場合には、

去を取り戻しに行け

る

次回

発送



第276号 発行所 文通村事務局 編集 広報部 千葉県成田市



雨

傘が濡れてしまうのが嫌だったの さす子どもたちが「 け れども、 ある雨の日、 ポンポロロン」 傘を

そうに歌って雨を楽しむ。 おじさんは傘をさす。そして楽し 気持ちになるのだ。 と楽しそうに歌うのにつられて、 を楽しむ秘訣を教えてもらっ Ť さんでみると、 おじさんと同じように歌を口ず う物語だ。少々憂鬱な雨の日 雨だけでなくざまざまな 心がはずむ。 そうい そ

> 風にゆられて誰かに届け! 風船便

まりです。



編集後記

が流れています。 手紙のある穏やかな時間 変わらない日常になりつ は今までもこれからも、 つありますが、 精神的に心ほっとする 理的な交流ができずと 文通村で 人との

日が。

を思い出せる。

年に一度、

特別な笑顔 そんな

時間をお楽しみください 大きく変わった日常も、